

A high-speed photograph of a water droplet falling into a pool of water, creating a series of concentric ripples and a central splash. The water is a vibrant blue color.

BUSINESS REPORT 2016

平成28年3月期 中間報告書
[平成27年4月1日～平成27年9月30日]

The logo for YSK, consisting of the letters 'YSK' in a bold, blue, sans-serif font. The letters are filled with horizontal white stripes.

YSK

焼津水産化学工業株式会社

天然素材の
フィールドで、
“おいしさと健康”を
追求します。



代表取締役社長

山本 和広

株主の皆さまにおかれましては、日頃より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループ第57期中間期(平成27年4月1日～平成27年9月30日)の事業の概況、業績等につきましてご報告申し上げます。

上半期の業績

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)のわが国経済を取り巻く環境は、円安による輸出採算の好転や株高などによる雇用・所得環境の改善傾向がみられ、全般的には緩やかな景気回復基調となっているものの、中国経済をはじめとする海外景気の下振れ懸念などもあり、実態経済の先行きは依然として不透明な状況にあります。

食品業界におきましても、円安に伴う原材料価格の上昇などによる物価高、個人消費の回復鈍化、少子高齢化の進行等、依然として厳しい収益環境が続いております。

このような中、当社グループでは、中期経営計画「Change & Challenge」の最終年度にあたり、自らが“変化”し、新しいことに“挑戦”していく企業風土を醸成しながら、更なる企業価値向上と持続的な成長の実現に向けた取り組みを進めております。

具体的には、YSK再興戦略として、i. 事業構造改革の実施、ii. 収益重視の営業推進、iii. 新規事業領域(「BtoC」市場)の進展、iv. Only One、差別化商品開発・上市の継続、v. 海外第2拠点

の確立、vi. 攻めのガバナンスとROEの向上を掲げ、収益性向上のため、既存事業を強化すると共に、前連結会計年度中に立ち上げた通信販売事業における化粧品「NAG+」シリーズの販売推進や、農業分野への進出など新規事業領域の拡大に注力してきました。また、製造面では、BCP対策の一環として昨年8月28日に竣工した掛川工場の安定稼働、事業構造の見直しなど、生産性の向上に向けた取り組みも着実に進んでおります。

連結売上高につきましては、景気回復の期待感に支えられて加工食品用の調味料が、緩やかな需要回復の基調となりましたが、機能食品は、引き続き厳しい市場環境にあって減収となったほか、水産物のOEM加工が減少し、連結売上高は96億98百万円(前年同四半期比12百万円、0.1%増)となりました。

利益面につきましては、円安による原材料価格の上昇と動力費の増加などから変動費率が上昇して売上原価を押し上げました。製品価格の値上げにも取り組んだものの即応とはならず、また、一部低採算品の売上が予想以上に伸長したことや、機能食品セグメントにおける主要製品が不振であったこともマイナス要因となりました。さらに、7月からの株式市場における株価の下落により、退職給付費用が増加したこともあり、連結営業利益は2億64百万円(同2億82百万円、51.6%減)、連結経常利益は2億97百万円(同2億98百万円、50.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億95百万円(同1億67百万円、46.2%減)となりました。

株主の皆さまへのメッセージ

当期の中間配当については、前期の中間配当と同じく1株当たり10円とさせていただきます。期末配当については1株当たり14円(中間と合わせて24円)を予定しております。

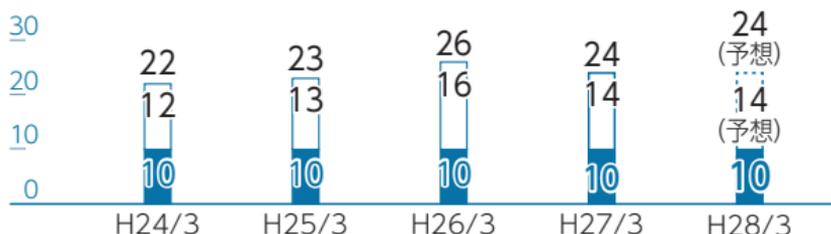
当社グループを取り巻く環境は依然として厳しいものがありますが、引き続きグループの力を集結して持続的な成長を実現し、株主価値の向上に取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 配当金推移 ●

(単位：円)

■ 第2四半期 □ 期末



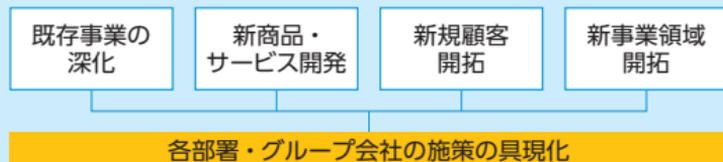
中期経営計画

Change & Challenge

当社グループの2013年度～2015年度までの中期経営計画のスローガンは「Change & Challenge」です。“成長への再挑戦”という位置付けで、“変化”し、新しいことに“挑戦”していきながら、当社グループで過去最高の連結営業利益の更新に挑戦します。

「Change & Challenge」の基本方針

4つの柱に経営資源(人・物・金)を集中投入し成長戦略を描く



「Change & Challenge」の定量目標

最終連結業績の目標値を以下の数値に修正致しました。

(単位：百万円)

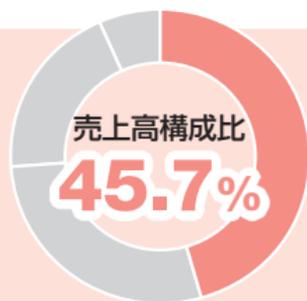
	連結売上高	連結営業利益	ROE
平成28年3月 (修正後)	18,430	700	2.80%

重点施策

1. 既存コア事業の深耕・事業継続計画 (BCP) 対応
2. 開発型企业への復権・回帰
3. 新事業への挑戦
4. グローバル展開と新たな海外拠点 (東南アジア) の設置
5. グループ経営基盤の強化

セグメント情報

天然調味料の製造 香辛料の製造
調味料の受託加工



調味料

売上高 **44億 31百万円** (前年同期比 **6.0%増** ↑)

セグメント利益 **3億 2百万円** (前年同期比 **41.7%減** ↓)

液体、粉体共に好調に推移したものの、掛川工場の固定費負担と動力費の増加により、増収減益となりました。

天然調味料

カツオエキス 昆布エキス ホタテエキス
カニエキス オイスターエキス etc.

水産物の問屋業 倉庫業
水産物の加工



水産物

売上高 **18億 94百万円** (前年同期比 **5.4%減** ↓)

セグメント利益 **△0百万円** (前年同期 **25百万円**)

海外向け輸出が回復したものの、OEM加工の減少が大きく、減収減益となりました。

※上記における各分野のセグメント利益は配賦不能費用(3億19百万円)

機能性食品素材の製造

医療栄養食(流動食の受託製造)

健康食品の通信販売

機能食品の受託加工

売上高構成比

28.4%

機能食品

売上高

27億 48百万円

(前年同期比 4.1%減)

セグメント利益

2億 45百万円

(前年同期比 18.2%減)

健康食品市場の競争激化に伴う取引先の受注減少により、減収減益となりました。

機能性素材

N-アセチルグルコサミン アンセリン

マリンコラーゲン フコイダン コンドロイチン硫酸 etc.

その他商品

売上高構成比

6.4%

その他

売上高

6億 22百万円

(前年同期比 2.3%減)

セグメント利益

38百万円

(前年同期比 0.6%減)

前期9月からスタートした通販事業「YSK働く女性研究所」の売上がほぼ純増となりましたが、その他大口取引の減少により、減収減益となりました。

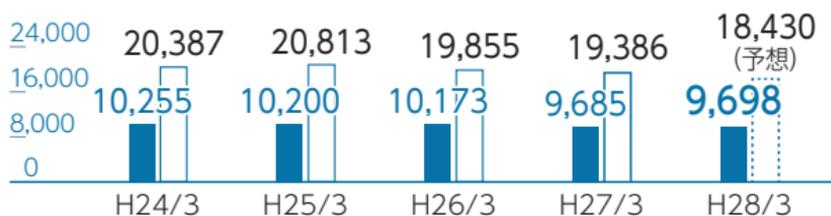
決算ハイライト

Financial Highlights

● 連結売上高 ●

(単位: 百万円)

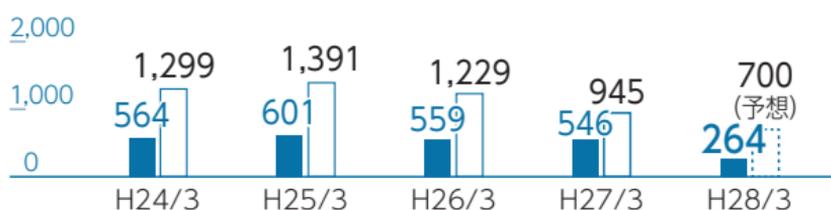
■ 第2四半期 □ 通期



● 連結営業利益 ●

(単位: 百万円)

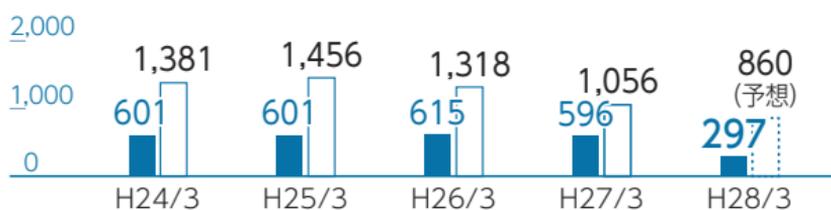
■ 第2四半期 □ 通期



● 連結経常利益 ●

(単位: 百万円)

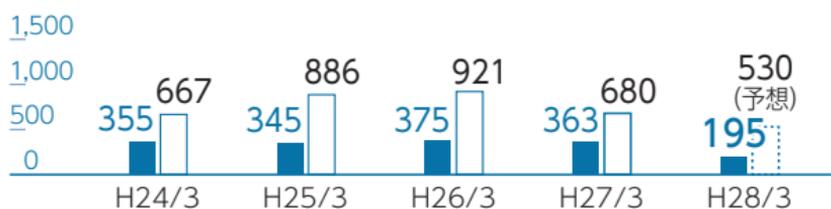
■ 第2四半期 □ 通期



● 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 ●

(単位: 百万円)

■ 第2四半期 □ 通期



● 連結総資産 ●

(単位: 百万円)



● 連結純資産 / 連結自己資本比率 ●

(単位: 百万円)

■ 連結純資産 ● 連結自己資本比率 (単位: %)



トピックス

YSK 働く女性研究所

<http://www.workingwoman-lab.jp/>

ナグプラスシリーズにラインナップ追加! ナグプラス 高保湿ラッピングクリームを発売

平成27年9月19日に「ナグプラス 高保湿ラッピングクリーム」の販売を開始しました。多くの女性が気にする目元・口元を集中ケア、1日中パックしているようなラッピング効果でずっと続くうるおい感を実現しました。N-アセチルグルコサミン(NAG)も贅沢に配合。角質層までしっかり浸透して、お肌にハリとうるおいを与えます。



美容ドリンクとしては日本初! 機能性表示食品「うるるん肌ドリンク」を発売

機能性表示食品制度に基づき、消費者庁へ届け出を行っていました。NAG配合の美容ドリンク「うるるん肌ドリンク」の販売を平成27年10月9日に開始しました。健康維持効果を謳える新制度の特長



を最大限に活用し、「N-アセチルグルコサミンは、肌が乾燥しがちな方の肌のうるおいに役立つことが報告されています。」の表示と共に内容をリニューアル。プロモーションやマーケティング活動も積極的に行っていきます。

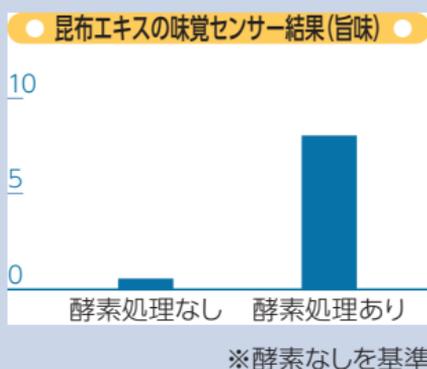
機能性表示食品への素材提供を強化

今回の機能性表示届出受理を受けて、本制度を活用した「肌の健康増進」というニーズに対応すべく、各メーカーへのNAGの提案を更に強化してまいります。NAGの美容機能にクローズアップした商標「Beauty Sugar®」の使用も合わせて提案中です。



“味”に重点をおいたエキス調味料 ETシリーズを発売

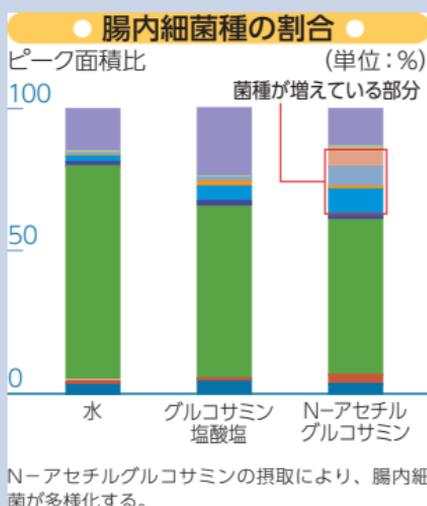
“香り”に特化した製品を主に製造・販売してきました当社ですが、今回は“味”に注目。コク・厚みなどの“味”に重点をおいたエキス調味料「ETシリーズ」の販売を開始しました。製品のラインナップとしては「鰹節」「昆布」「煮干」の3種類。タンパク質や多糖を分解する酵素を探求し、素材そのものが持つ成分でコクや旨みのアップを実現しました。早くもサンプル展開の中では大手食品メーカー数社より高評価を頂いており、加工食品メーカーをはじめ、外食・中食市場をターゲットに製品の提案を強化していきます。



NAG摂取が腸内細菌叢の多様化に寄与 腸のアンチエイジング商品への展開を狙う

当社は、NAGを摂取することで腸管内の菌が多様化することを東北大学の齋藤忠夫教授との共同研究で明らかにしました。多様化とは菌のバランスが変化することで、マウスを使った実験で、4週間後にビフィズス菌などが増えていることが確認されました。これは、NAG摂取により腸管にあるムチン層という腸内細菌の棲家が厚くなったことに由来すると推定しています。

今後は、腸のアンチエイジング素材として、ヨーグルト等、腸をターゲットとした食品やサプリメントへの展開に繋がたいと考えております。



連結財務データ

Consolidated Financial Data

連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)

科 目	前期末 (平成27年3月31日)	当第2四半期末 (平成27年9月30日)
(資産の部)		
流動資産	12,763	12,757
固定資産	12,192	11,649
資産合計	24,955	24,407
(負債の部)		
流動負債	4,063	3,788
固定負債	1,695	1,529
負債合計	5,759	5,317
(純資産の部)		
株主資本	17,898	17,919
その他の包括利益累計額	1,297	1,169
新株予約権	0	0
純資産合計	19,196	19,090
負債・純資産合計	24,955	24,407

連結損益計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)	当第2四半期 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)
売上高	9,685	9,698
売上総利益	2,106	1,909
営業利益	546	264
経常利益	596	297
税金等調整前四半期純利益	578	297
四半期純利益	363	195
親会社株主に帰属する四半期純利益	363	195

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)	当第2四半期 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	867	△ 95
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,672	143
財務活動によるキャッシュ・フロー	185	△ 243
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	1
現金及び現金同等物の増加額(減少額△)	△ 616	△ 192
現金及び現金同等物の期首残高	4,347	4,250
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,730	4,057

会社概要(平成27年9月30日現在)

商号	焼津水産化学工業株式会社
事業内容	天然調味料及び機能食品の製造販売
資本金	36億1,764万円
創業年月日	昭和34年5月15日
取引銀行	静岡銀行 / 三井住友信託銀行
事業所	
静岡本部	〒422-8067 静岡県静岡市駿河区南町11番1号 静銀・中京銀静岡駅南ビル6F TEL.054-202-6030 FAX.054-202-6031
焼津本社	
営業所	東京営業所、大阪営業所、名古屋営業所、九州営業所
工場	静岡県内4工場(焼津・団地工場 榛原工場 大東工場 掛川工場)
連結子会社	●マルミフーズ株式会社 資本金 100百万円 当社の議決権比率 100% 主な事業内容 水産物の加工・販売 ●大連味思開生物技術有限公司 資本金 505百万円 当社の議決権比率 100% 主な事業内容 調味料等の製造・販売 ●UMIウェルネス株式会社 資本金 50百万円 当社の議決権比率 100% 主な事業内容 健康食品の通信販売

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
株主確定基準日	(1) 定時株主総会議決権行使株主 3月31日 (2) 期末配当金受領株主 3月31日 (3) 中間配当金受領株主 9月30日 (4) その他必要あるとき あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第1部
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱所	(〒168-0063) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話番号(0120)782-031[フリーダイヤル]
同取次所 公告の方法	三井住友信託銀行株式会社 全国各支店 電子公告 http://www.yskf.jp/index.html ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
株式に関する 各種手続きの お申し出先	(1) 証券会社経由で株式会社証券保管振替機構(ほふり)に株式がある場合 ▶株主様が口座を開設している証券会社 (2) 特別口座に株式がある場合 ▶三井住友信託銀行株式会社 お問い合わせは下記の証券代行部フリーダイヤル またはホームページをご利用ください。 フリーダイヤル(0120)782-031(24時間受付:自動音声案内) ホームページ http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

※ 配当金領収証で配当金をお受け取りの株主様は、別紙「配当金口座振込サービスのご案内」をご覧ください。

ウェブサイトのご案内

当社のことをより深く理解していただくとともに、最新情報をタイムリーに提供することを目的に、IR情報や製品検索、研究開発情報、事業内容などをウェブサイトに掲載しています。ぜひご活用ください。

<http://www.yskf.jp/>
トップページ▶



◆YSK働く女性研究所オフィシャルサイト
<http://www.workingwoman-lab.jp/>

YSK働く女性研究所の詳細と商品がお買い求めいただけます。



◆UMIウェルネスオンラインショップ
<http://umiwellness.com/>

UMIオンラインショップで当社素材を配合した商品がお買い求めいただけます。



UD
FONT

